

今年度の「バドミントンS/Jリーグ」は11月4日に開幕して、札幌雪まつり開催前日の令和6年2月3日(土)にリーグ最終戦として札幌大会が開催されることになっています。

この最終戦での勝敗によって、上位4チームが駒を進められる「TOP4トーナメント」への挑戦者を決める重要な大会として「北ガスアリーナ札幌46」で行われることになっており、多くのバドミントンS/Jリーグファンにとって札幌大会の結果が大いに気になることでしょう。

さて、この札幌大会には8チーム(男子4・女子4)が集結します。男子の対戦カードは、昨年に続き地元での勝利を目指す「コンサドーレ」と、実績のある「トリッキーパンダース」。もう1試合が、日本のシングルスエースでパリオリンピックを目指している西本拳太選手が所属している「ジェイテクト」と、元シングルス世界チャンピオン桃田賢斗選手を初め7名の日本ナショナルA代表選手が所属している「NTT東日本」の2試合となっています。男子同士ならではのスピードと迫力あるプレーが観られることと思います。

一方、女子の対戦カードは、元ダブルス世界チャンピオンで北海道出身の松本・永原組が所属する「北都銀行」と日本ナショナルA代表の齋藤 夏選手が所属する「ACT SAIKYO」。もう1試合が日本ナショナルA代表の櫻本・宮浦組がチームを引っ張る「ヨネックス」と、チーム力が一段と上がって来ている「東海興業」の対戦となっていて、何れの試合も女子ならではの激しく長いラリーの応酬がコート一杯に繰り広げられることと思いますので、多数のご観戦・チーム、選手への応援をよろしくお願いいたします。

BADMINTON S/J LEAGUE 2023

札幌大会実行委員会